

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	素描	2	2	セラミック	選択	初めてでも楽しくできる デッサンの基本 ナツメ社

1. 学習の到達目標

素描（デッサン）をする上で必要な道具に関する基礎的な知識はもとより、物の形と調子についての知識と技術を習得し、物を鉛筆という道具で表現する能力を学びます。また、対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的な表現方法や造形要素に関心を持ち、創意工夫し、美しく表現する能力を学ぶことができます。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	素描の知識と技術について関心をもち、意欲的に創造活動に取り組み、実践的な態度を身につける。	ものを表現する事を目指して、自ら考え、基礎的、又は応用的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につける。また、自分の表現方法を創造的に表現することができる。	素描に関する基礎的、応用的な技術を身につけ造形感覚や感性などを働かせることができる。	素描に関する基礎的、応用的な知識を身につけ、感性や想像力を働かせ、又、美的感覚を養い、理解することができる。
評価の方法	授業観察、制作態度、課題作品の提出物の状況、などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

陶磁器をデザインする上で必要な伝統的加飾に関する基礎的な知識はもとより、更に応用的な知識と技術を習得させ、実際に創造する能力と態度を育てる科目です。また、デッサンは立体感覚を養うためにも必要です。将来、美術系、造形系に進学する予定の人はぜひ受講してみてください。

年間指導計画 科目名 素描 2 単位 2 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
一 学 期	4	1 鉛筆の調子 (グレースケール) 2 立方体 3 空き缶 (色味の異なる2本) 4 木の棒	<ul style="list-style-type: none"> 石膏モチーフの幾何形態を形、立体感、質感の三要素を理解し集中し鉛筆で写し取ることができる。 モチーフの陰影を細部にとらわれずに表現し、立体感や質感をだす技術を身に付ける。
	5		
	6		
	7		
二 学 期	9	5 新聞紙 6 スコップ 7 ゴムハンマー 8 手 9 ビール瓶 10 友人の顔	<ul style="list-style-type: none"> 画面構成の的確な表現をし、目に見えない線 (補助線) を考察しながら、細かい部分にとらわれず、全体の形をとらえることができる。 形態を画面上にうまく構成し、目に見えない線 (補助線) を考察しながら、しっかり形態を見て正確に形をとる能力をみにつける。 鉛筆 (4B・2B・B・HB・H・4H) と練り消しの使い方を理解する。
	10		
	11		
	12		
	1		
	2		
三 学 期	1	11 みかん 12 素焼きの湯のみ 13 紙袋	<ul style="list-style-type: none"> 一点・二点透視図法を理解し、モチーフの形をとることができる。 球体の裏側から入る光をえがくことで、光のまわりこみを理解することができる。 鉛筆を直角に立てモチーフの大きさや距離を測る事が出来る事を理解した上で正確な形を取る事が出来る。
	2		

※モチーフはあくまで予定です。今後変更になることもあります。